



～清くけだかき白鳥の～

山喜株式会社 社歌

2020年春のNHK連続テレビ小説『エール』は、作曲家・古関裕而氏をモデルに古関ご夫妻の生涯を描いたドラマです。遡ること1961年(昭和36年)、このドラマの主人公である古関裕而氏(作曲)と著名な詩人である西條八十氏(作詞)によって、当社の前身である株式会社山喜商店の社歌が作られました。山喜のイメージを白鳥(スワン)に託し、力強くも美しい社歌として、今も脈々と歌い続けられています。



古関裕而氏直筆と推定される譜面



※古関裕而専用譜面

山喜株式会社 社歌

～清くけだかき白鳥の～

作詞 西條八十
作曲 古関裕而

一、青き湖 静かにすべる
清く気高き白鳥の
その装いを 我等の理想
磨く技術に 打ち込む情熱
山喜 山喜 我等の山喜
たたえよ スワンの輝く姿を

二、笑顔見交わし 腕をくみて
仰ぐ山喜の 旗じるし
見よ堂々と 市場を圧し
あふれ伸びゆく 我らの成果を
山喜 山喜 我等の山喜
たたえよ スワンの輝く姿を

三、意気はたくまし 我等は若し
のびゆく社業は 果てしなし
いざさきがけん 世界に築け
輸出日本の ゆるがぬ王座を
山喜 山喜 我等の山喜
たたえよ スワンの輝く姿を

代表曲紹介

作曲：古関 裕而 氏 (こせきゆうじ)

- 「紺碧の空～早稲田大学応援歌～」(作詞：住治男、1931年)
- 「大阪タイガースの歌(六甲産)」(作詞：佐藤惣之助、歌：中野忠晴、1936年)
- 「栄冠は君に輝く」(作詞：加賀大介、歌：伊藤久男、1948年)
- 「長崎の鐘」(作詞：サトウハチロー、歌：藤山一郎、1949年)
- 「君の名は」(作詞：菊田一夫、歌：織井茂子、1953年)
- 「オリンピック・マーチ」(演奏：陸上自衛隊中央音楽隊、1964年)

作詞：西條八十 氏 (さいじょう やそ)

- 「東京音頭」(作曲：中山晋平、歌唱：小唄勝太郎・三島一声、1933年)
- 「東京ブルース」(作曲：服部良一、歌唱：淡谷のり子、1939年)
- 「誰か故郷を想わざる」(作曲：古賀政男、歌唱：霧島昇、1940年)
- 「青い山脈」(作曲：服部良一、歌唱：藤山一郎・奈良英枝、1949年)
- 「王将」(作曲：船村徹、歌唱：村田英雄、1961年)
- 「人間の証明のテーマ」(作曲：大野雄二、歌唱：ジョー山中、1977年)